

秋の展示

平成29年9月26日(火) - 12月10日(日)

休館日 10月10日、11日、12日、13日、23日、11月13日、27日

開館時間 午前9時から午後5時まで

入館料 大人500円 小中学生300円 幼児無料 ※20名以上の団体、JAF会員・障がい者割引有り

会場 芦北町立星野富弘美術館 熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1439-2 0966-86-1600

URL:<http://www.hoshino-museum.com>



「時」2001年

秋の展示

秋は味わい深い草花が多く、緑が鮮やかな夏とはまた別の趣があります。木々の葉は赤く黄色く色づき、コスモスは咲き乱れ、足元を彩る野菊は秋の風情を感じさせてくれます。ススキの穂が風になびく姿や、彼岸花が田んぼの畦道に咲く風景は、まさに日本の秋の原風景です。野山に咲く草花たちの間を吹き抜ける秋風の匂いは、私たちがそこはかたない憂愁へと誘います。星野富弘の詩画作品には、そんな自然の中に息づくいのちとの関わりが表現されています。

木にある時は 枝にゆだね 枝を離れば 風にまかせ 地に落ちれば 土と眠る (「木の葉」)

痛ければ 痛みの中を 淋しければ 淋しさの中を歩こう (「落葉」)

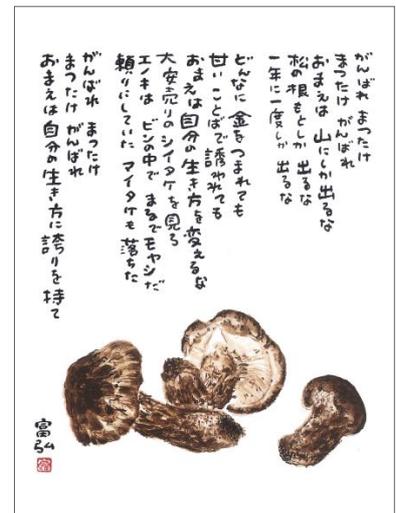
本展では、秋の草花を題材とした作品を中心に、自分という存在から自然を見つめることで生み出される星野の世界を紹介します。



「ベニテングダケ」2004年



「栗の実」1982年



「まつたけ」1999年



星野 富弘(ほしの とみひろ)

1946年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に生まれる。群馬大学教育学部卒業後、中学校の体育教諭になるが、クラブ活動(器械体操)の指導中、模範演技で空中回転したとき誤って頭部から転落。頸髄を損傷。首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵をかきはじめる。前橋で最初の作品展を開く。退院後、雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年、高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に富弘美術館開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。著書多数。

○星野富弘美術館へのアクセス

【熊本方面から】

お車の場合：南九州西回り自動車道芦北ICから県道27号線経由国道3号線で芦北町湯浦へ。湯町交差点を右折し約1分。
熊本市から約1時間30分。

電車の場合：肥薩おれんじ鉄道佐敷駅下車後、タクシーで約10分。もしくは、湯浦駅下車後、徒歩で約20分。熊本駅から約1時間50分。

【鹿児島方面から】

お車の場合：国道328号線及び国道3号線で芦北町湯浦へ。湯町交差点を左折し約1分。
鹿児島市から約2時間30分。

電車の場合：肥薩おれんじ鉄道湯浦駅下車後、徒歩で約20分。
鹿児島中央駅から約3時間。

